

リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022

一般社団法人 日本リハビリテーション病院施設協会

ライフスタイルを支援する地域リハビリテーション ～地域リハ塾生の実践報告2022～

～患者会におけるチャレンジに対する
片麻痺患者と家族支援～

広島西地域リハビリテーション広域支援センター

(アマリハビリテーション病院)

作業療法士 寺田 千秀

報告のながれ

- ① 支援の立ち位置
- ② 患者会の特徴と代表の属性
- ③ 具体的な支援の内容
- ④ 代表の思いと課題・提案
- ⑤ 地域リハの視点での活動の振り返り

①参加の立ち位置：業務（広域C）として

（広域C：地域リハ広域支援センター）

- ・ 広島県の広域Cの**実施要領**の立場：**支えあいづくり**

地域住民

市町

リハビリテーション実施機関

圏域内の地域包括支援センター



相談

技術支援及び人材派遣

ネットワーク化

医療介護連携・連絡・調整

- ・ 地域リハの立場：**切れ目のない体制整備**

通所リハOTからの引継ぎ・**継続支援**

法人内、地域（2市の包括と社協と）への情報提供

会設立までの経緯と設立のきっかけ

2013

通所リハ

- ・ 「どうやって生きていけばよいか不安」 「同じ病気を持った人と話し合える場が欲しい」 「社会に出たい」
- ・ 患者会の紹介、患者会への同行、通所や外来に同じ思いの方がいた⇒**立ち上げのきっかけ、立ち上げの後押し**

2014

広域C
通所リハ

- ・ 社会福祉協議会とのつなぎ（保険や支援を受けるため）
- ・ 設立支援（ケアマネも巻き込みキックオフミーティング）

現在

広域C

- ・ 継続支援（通所リハOTはプロボノ）

さつきばれとは（中途障がいと家族の会）

- 設立：2014年4月
- 日時：月2回 第2・4土曜日 14：00～16：00
- 場所：総合健康福祉センター（空いていない時は当院）



- 設立趣旨

本会は脳血管疾患等による病気や事故などで中途障がい者になられた方及びその家族が、自助グループとして会を自主的に立ち上げ集まり参加者自身も**ピアサポート**として活動することで、生活上の工夫の発信・情報交換等により、心身を生き生きさせると共に**外出による社会参加（行き場作り）**など新しい人生の再構築を目指すことを目的とします。

- 継続のために：当事者と家族のみで参加が可能（送迎・参加時のトイレなど）

介入の基本姿勢（通所リハOTからの依頼）

- 「したい作業の可能化」に向けた支援
- 代表のみに負担がかからないよう、4名体制で会の運営継続
- 原則、困っても要望がなければ、支援を控える
（寄り添う）

③ さつきばれ代表の状況

- 年齢：開設時55歳
- 性別：女性（夫と二人暮らし）
- 職業：専業主婦
- 病名：脳梗塞、左片麻痺
- 介護保険：要介護Ⅱ
- ADL：4点杖と短下肢装具での歩行にて、入浴以外のADLは、ほぼ自立
活動範囲は自宅敷地内程度
- サービス：通所リハ短時間 1/W、 訪問リハ2/W
運動特化型通所介護3/W

代表の会に対する思い

- 困ったら相談しあう、報告しあう！
- **みんな一緒**に活動する！
- みんなで**チャレンジ**し続ける！

COPM : Canadian occupational performance measure

カナダ作業遂行測定 (介入2年頃)

| 作業ニーズ | 重要度 | 遂行度 | 満足度 |
|--|-----|--------|--------|
| 旅行に行きたい (県外の娘、夫との旅行) | 9 | 10 | 10 |
| 障害者の居場所を作りたい ・気軽に場所が借りれる ・コーヒなどが作れ、飲食が可能 ・会運営の物品保管が可能 | 7 | 7 | 8 |
| 障害者スポーツがしたい | 6 | 2 | 3 |
| | | 遂行度6.3 | 満足度7.3 |

ライフスタイル（ライフイベント）と支援内容の概要

| ライフイベント | 年代 | 代表 | 支援 |
|-----------------|----|---|---|
| ①子育て終了 | 55 | ・友達4名と活動的な生活 | |
| ②脳梗塞発症 | 56 | ・社会資源での外出以外、閉じこもり生活 | |
| ③患者会 立ち上げ・継続 | 57 | ・4名での立ち上げ | <ul style="list-style-type: none"> ・会の立ち上げ・継続のための支援 ・家族負担の軽減 |
| ④患者会での チャレンジ | ↓ | <ul style="list-style-type: none"> ・会員募集、片手での料理教室、陶芸教室、日帰り旅行、県外の患者会団体との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの紹介 ・多団体との交流、日帰り旅行の支援 |
| ⑤個人での チャレンジ | | <ul style="list-style-type: none"> ・夫とハワイ旅行 ・一人で東京の娘宅へ | |
| ⑥会員の他界 | 58 | <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げメンバー（事務局長）の死 ・立ち上げ協力者（OT）の死 | <ul style="list-style-type: none"> ・亡くなった家族と会のつなぎ |
| | ↓ | <ul style="list-style-type: none"> ・代表であり続けることの不安 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表としての不安に対して、心理的支援 |
| ⑦孫の誕生 | 60 | <ul style="list-style-type: none"> ・母、祖母としての役割の喪失感 ・夫の退職、代表交代の気持ち目芽生え | |
| ⑧コロナ禍 | 61 | <ul style="list-style-type: none"> ・再び半閉じこもり生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員集まらなくても繋がる支援 |
| ⑨終末期の犬の世話 | 63 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表の交代、楽しく買いに参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表交代への相談対応 |

③ 支援について 片手で料理にチャレンジ



当事者と家族だけで活動が継続でき、福祉施設へのボランティアまで！

→ **支援終了検討**

○県内の他の患者会を支援している医師より



ピアチアーズ脳卒中広島の会

○疾患特性上、**関わり続けるべき！**

旅リハ勉強会！



横浜リハセンターから
講師をお招きして



講師

代表

講師

活動のきっかけの提供

横浜から旅リハの皆様をお迎えして



患者会・入院・外来患者さんも参加

横浜から旅リハの皆様と懇親会





代表の友人

代表

宮島口フェリー乗り場

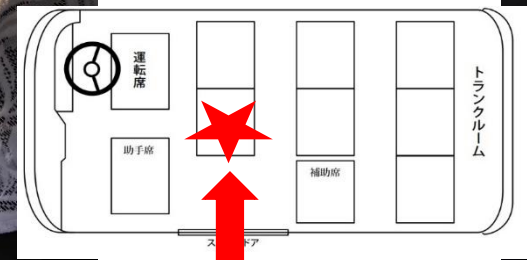


美術館へ

日帰り旅行



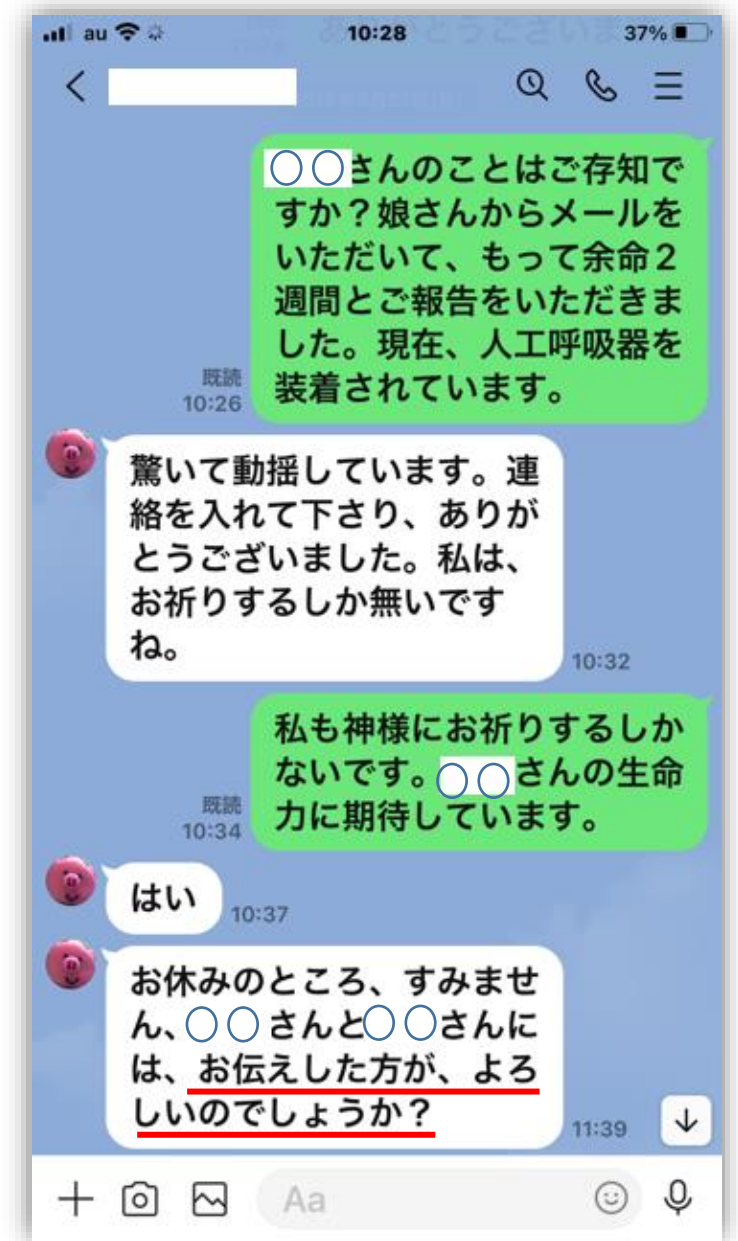
療法士2名でジャンボタクシーへ！



昼からお酒！

会員の他界

- 立ち上げ時にかかわった作業療法士が他界
**したいことに焦点を当てた会運営の
相談役**
- 事務局長（立ち上げ時の一人）が他界
一番の相談役・縁の下の力持ち
設立趣旨・会則の作成、会計担当
総会の資料作成

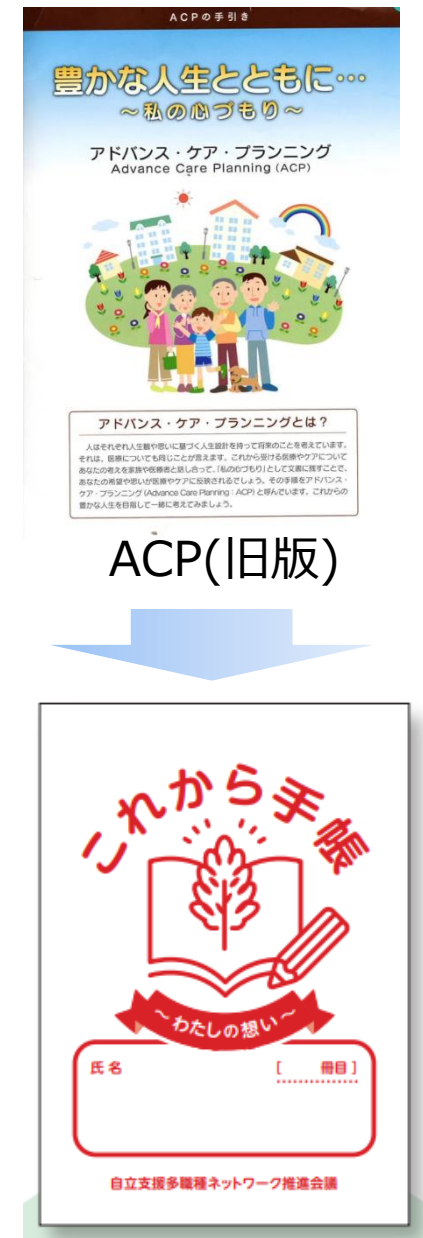


いざの時の取り決めの共有

○該当ご家族との間に入り：情報の橋渡し

遠慮からくる後悔を少なくする？

ACPは気持的に重い
廿日市市で進めているACPの
前段階の「これから手帳」の活用



広島県多団体で作成
2019～

コロナ禍（怖くて参加できない会員へ）

Webでの会の活用ができない→ビデオメッセージの作成



DVDとても楽しく見せていただきました
音楽も楽しい曲ばかりでビデオ撮映の腕も
編集も良くニースて明るい気持ちになり
ました
まだまだコロナウイルスは収まりそうになら
ずが少しでも明るく過せるよう工夫して
いきますと思います早く元の生活に戻りたい
です。ね。では会える日まで楽しみに。
。

会員の皆さんに頼りにされているのに、
落ち込んで・・・！

『私が代表を続けていて良いのでしょうか？』

全員の気持ちの見える化のお手伝い

作業の意味を考えるための枠組みの開発

(吉川ひろみ 作業科学研究3,20-28,2009)

①感情の有無

②手段か目的か

③人・場所・時間とつながり

④生活習慣に影響

⑤アイデンティティ

⑥健康状態

⑦社会的意味

⑧義務・願望

⇒患者会参加の気持ちの見える化

代表の患者会参加（作業）の気持ち（意味）

| 視点 | すること(作業)名 | |
|------------|----------------------|-------------------------------|
| 感情を生むか | 快 楽しい | 不快 自分の生活が 脅かされる場合、時々ある。 |
| 手段か目的か | 手段 | 目的 |
| 人とつながるか | つながる お礼のメールとつながる。 | つながらない レポートの為 |
| 場所とつながるか | 特定の場所に行く必要がある | いつもの生活の場所 でできる |
| 時間とつながるか | 過去につながる | 未来につながる 理由と見方、未来につながる。 |
| 生活習慣に影響するか | 生活習慣が崩れる れない | 生活習慣が崩れる |

| | 自分らしいこと | 自分らしくないこと |
|------------|------------------------------|----------------|
| 自分らしいことか | 自分らしいこと | 自分らしくないこと |
| 健康状態を左右するか | 体・心・社会的によい 病気が回復する 頭も使 | よくない 不健康になる |
| 社会的意味を持つか | 役割を果たすか | 役割を果たさないか |
| 仕事か遊びか | 仕事 しなければならない | 遊び 自由 休息 |

備考: 同病相成りあり。レポートとして出さなければ、又、1枚力
 ならずボランティア活動など、社会に関わる事が出来、自信へとつながる。
 又、多岐の必要とされる方と関わり得る。

○会員の全員の患者会参加の意味 N=5

1) 作業の意味の分析：結果

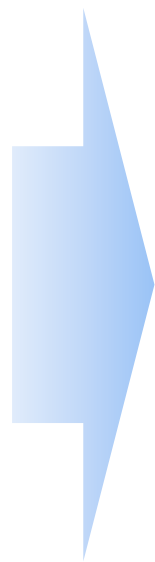
- ①会員の皆が快感情：5名（代表：楽しくないこともある）
- ②人・時間とつながる：5名
- ③参加することが目的：5名
- ④生活習慣に影響がない：5名
- ⑤自分らしい：5名、⑥健康によい：5名
- ⑦社会的に意味を持つ者：3名、持たない者：2名
- ⑧参加の気持ち：
 - ・義務（しなければならない）：3名
 - ・願望（したい）：2名

○活動の拡大・会員の入れ替わり→立ち位置で役割が重荷に！

代表を交代されて

| すること(作業)名 | | |
|------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 視点 | 2つをばいの場合 (1つ) | |
| 感情を生むか | 快 楽しい | 不快 自分の生活が壊れる 責任が持てない 時がある |
| 手段か目的か | 手段 | 目的 |
| 人とつながるか | つながる | つながらない |
| 場所とつながるか | 特定の場所に行く必要がある | いつもの生活の場所 でできる |
| 時間とつながるか | 過去につながる | 未来につながる |
| 生活習慣に影響するか | 生活習慣が崩れる れない | 生活習慣が崩れる |
| 自分らしいことか | 自分らしいこと | 自分らしくないこと |
| 健康状態を左右するか | 体・心・社会的によい 病気が回復する (頭も使) | よくない 不健康になる |
| 社会的意味を持つか | 役割を果たすか 役割がなくなる | 役割を果たさないか |
| 仕事か遊びか | 仕事 しなければならない | 遊び 自由 休息 |

備考: 同病相成り。ワザワザと生きている場。又、1人だけ
ならボランティア活動など、社会に関わる事が必要。自信とつながり。
又、多岐の必要とされる方と関わりたい。



| すること(作業)名 | さつきばれ | |
|------------|-----------------------|-------------------|
| 視点 | | |
| 感情を生むか | 快 | 不快 |
| 手段か目的か | 手段 | 目的 |
| 人とつながるか | つながる | つながらない |
| 場所とつながるか | 特定の場所に行く必要がある | いつもの生活の場所 でできる |
| 時間とつながるか | 過去につながる | 未来につながる |
| 生活習慣に影響するか | 生活習慣が崩れる れない | 生活習慣が崩れる |
| 自分らしいことか | 自分らしいこと | 自分らしくないこと |
| 健康状態を左右するか | 体・心・社会的によい 病気が回復する | よくない 不健康になる |
| 社会的意味を持つか | 役割を果たすか | 役割を果たさないか |
| 仕事か遊びか | 仕事 しなければならない | 遊び 自由 休息 |

備考:

まとめ：代表の思いと課題・提案

| 代表の思い | 課題 | 提案（支援） |
|----------------------------|------------------------------|--|
| 困ったら 相談・報告し あう！ | 遠慮の壁 | <ul style="list-style-type: none">・ ツール（これから手帳）の活用・ 事前に思いを確認 |
| みんな一緒に 活動する！ | Web環境での介入 ができてにくい、過 渡期 | <ul style="list-style-type: none">・ 参加者及び家族のWeb環境の把握・ リモート機器の貸し出し |
| みんな で チャレンジ し続ける！ | 当事者及び、家族 だけでは難しい場 合がある | <ul style="list-style-type: none">・ 支援者の募集 プロボノとして参加するスタッ フの募集、法人の教育プの一環 として支援しやすくする |

代表の不安と課題・提案

| 代表の状況 | 課題 | 対策 |
|---------------|---------------------|---|
| 代表の不安 ストレス | 参加者の気持ちが見えない、確認しにくい | <ul style="list-style-type: none">・ 気持ちの見える化の協力・ Needの確認 |

課題と対策（専門職）

| 支援者 | 課題 | 対策 |
|----------------|------------|--|
| 支援者の介入の 度合い | 会での立ち位置の誤解 | <ul style="list-style-type: none">・ アンケートなどで確認・振り返り・ 他の当事者や団体への相談 |

⑤地域リハの視点での活動の振り返り

地域リハ塾の学びから

やってなんぼ：8年間の寄り添い

仲間づくり：法人外) ぴあチアーズ

横浜リハセンター

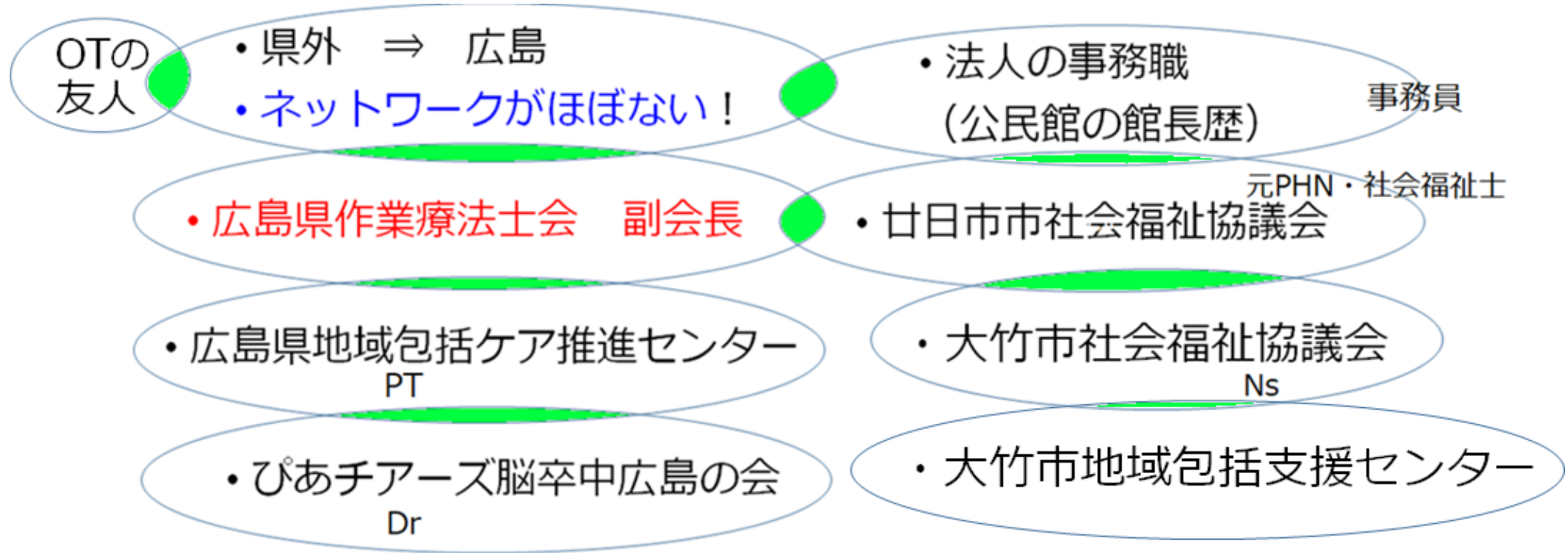
法人内) サポートメンバー 1名

地域リハ推進課題から

- ・切れ目のない体制整備：通所リハから引き継ぎ、継続支援
- ・支えあいづくり：遠慮の壁と気持ちの見える化

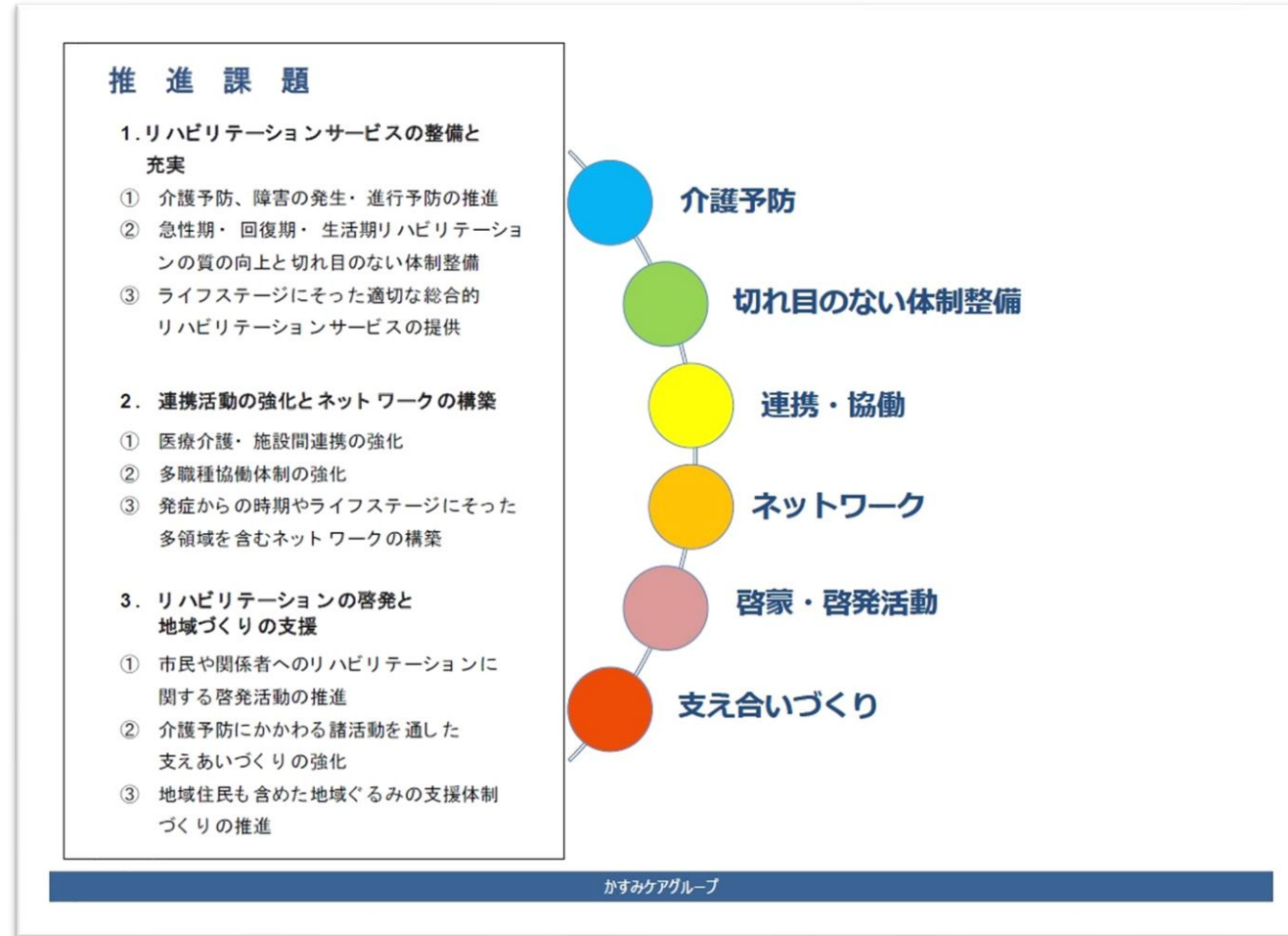
地域リハはいきもの：ライフスタイルの変化に沿って支援内容を当事者に確認しつつ寄り添う。

8年間も支援が継続できた理由？



仲間づくり ⇒ 動いてなんぼ ⇒ 石川先生ツイントラックアップアプローチが大切
個人へのアプローチ ⇒ 地域へのアプローチへと拡大

ご清聴ありがとうございました



引用：齊藤正身塾長：キーワード化 地域リハ塾講義録より